

## &lt; 運営推進会議における評価\_様式例 &gt; ※公表用

## 【事業所概要】

法人名	大和メディカル株式会社	事業所名	看護小規模多機能かしの木
所在地	(〒 990 - 2483 ) 山形市上町四丁目 6 番 2 4 号		

## 【事業所の特徴、特に力を入れている点】

サービスの特性を生かし、訪問看護と連携しながら医療ニーズの高い利用者にも対応し、質の高い看護・介護を行っている。緊急の相談には、相談受け付けから受け入れまで迅速に判断し、受け入れしている。また、他の短期入所では対応困難なケースも短期利用居宅介護で受け入れや、併設の住宅型有料老人ホームと協同し、生活保護や身寄りのないケース等、他の施設では受け入れ困難なケースも協力して受け入れている。

## 【自己評価の実施概要】

事業所自己評価 実施日	西暦 2023 年 12 月 27 日	従業者等自己評価 実施人数	( 15 ) 人	※管理者を含む
----------------	---------------------	------------------	----------	---------

## 【運営推進会議における評価の実施概要】

実施日	西暦 2024 年 3 月 13 日	出席人数 (合計)	( 8 ) 人	※自事業所職員を含む
出席者 (内訳)	<input type="checkbox"/> 自事業所職員 ( 3 人) <input type="checkbox"/> 市町村職員 ( ____ 人) <input type="checkbox"/> 地域包括支援センター職員 ( 1 人) <input type="checkbox"/> 地域住民の代表者 ( 2 人) <input type="checkbox"/> 利用者 ( ____ 人) <input type="checkbox"/> 利用者の家族 ( 1 人) <input type="checkbox"/> 知見を有する者 ( 1 人) <input type="checkbox"/> その他 ( ____ 人)			

■ 前回の改善計画の進捗評価

項目	前回（R4年度）の改善計画	実施した具体的な取組	進捗評価	
I. 事業運営の評価 (評価項目 1～10)	1 人材募集を引き続き行い、人員不足を解消する 2 働きやすい職場環境の継続（希望休やシフト調整） 3 法人の理念を踏まえ、来年度に向けた事業所の目標設定 4 計画的な研修と勉強会の実施（動画研修の活用） 5 送迎・訪問の運行路の調整や業務見直し・改善による負担の軽減	1 人材募集の継続、 2 コミュニケーションの心がけ、シフト作成担当者からスタッフへの声かけ・調整 3 今年度設定予定 4 動画研修、ウェブ研修活用 5 ICT活用を継続	1 やりがいのある仕事であることや事業所の魅力発信で、人材獲得を 2 継続して下さい 3 継続して下さい 4 継続して下さい 5 業務の見直しと共に、生産性向上の取り組みを	
II. サービス提供等の評価	1. 利用者等の特性・変化に応じた専門的なサービス提供 (評価項目 11～27)	1 サービス担当者会議や初回面談、病院への実調等、看護師、介護員同行し情報収集 2 意向確認し、自立支援に資するプラン作成 3 外部訪問へ定期的に同行し、ケア内容の確認、指導	1 極力参加（スケジュール調整） 2 ケアマネジャーが作成 3 新任者に関して実施した	1 継続して下さい 2 継続して下さい 3 継続して下さい
	2. 多機関・多職種との連携 (評価項目 28～31)	1 リーダー会議、特定行為業務等関係者会議（概ね月1回）継続 2 他機関への相談、報告の継続 3 看取りのカンファレンス、ミニカンファレンスの適宜開催 4 運営推進会議、ネットワーク連絡会等での情報交換、情報提供を継続	1 概ね行えている 2 ケアマネジャー中心に行っている 3 デスカンファレンスも適宜行えているが、記録が抜けることがある 4 概ね行えている	1 継続して下さい 2 継続して下さい 3 継続して下さい 4 継続して下さい

	3. 誰でも安心して暮らせるまちづくりへの参画(評価項目 32~41)	1 在宅介護の積極的な受け入れ 2 地域活動への施設開放(関係機関と相談の上)	1 人員や地域を考慮し受け入れ判断 2 コロナ5類で徐々に緩和、実施の方向	1 継続して下さい 2 地域の協力が多く、素晴らしいと感じた。事業所は地域と協働し、災害時の協力体制の構築等、地域貢献に期待します
Ⅲ. 結果評価 (評価項目 42~44)		1 できていることは今後も継続 2 ターミナルケアの充実と医療知識の習得 3 自ら学ぶ姿勢を持ち、柔軟な考えと多角的な視点で介護の幅を広げる 4 コロナ感染状況をみながら、施設の開放、行事交流等、地域と関わりを持つ	1 左記継続 2 看護師からの助言、連携で行えている 3 環境づくりは行っている 4 再開予定	1 継続して下さい 2 利用者や家族の思いは揺れ続けるので、話し合いの過程を大切に 3 継続して下さい 4 地域や包括と協力して、災害時だけでなく日常的に係わりがもてるような関係づくりをして下さい

※「前回の改善計画」および「実施した具体的な取組」は事業所が記入し、「進捗評価」は自己評価・運営推進会議における評価の総括を記載します

■ 今回の「評価結果」および「改善計画」

項目	評価結果	改善計画	
I. 事業運営の評価 (評価項目 1～10)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・サービスを知らない方が多く、もったいないと感じる。事業所の魅力ややりがいを発信し、人材獲得に繋げて下さい</li> <li>・課題はあるがそれも共有しつつ、来年度は地域との繋がりや、様々な活動に活かして下さい</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・BCP作成後のシミュレーションの実施(感染症・自然災害)</li> <li>・業務改善の取り組みと情報発信</li> </ul>	
II. サービス提供等の評価	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 利用者等の特性・変化に応じた専門的なサービス提供 (評価項目 11～27)</li> <li>2. 多機関・多職種との連携 (評価項目 28～31)</li> <li>3. 誰でも安心して暮らせるまちづくりへの参画(評価項目 32～41)</li> </ol>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・看多機だからできることがたくさんある。できていることは継続し、「あまりできていない」項目は伸びしろと受け止め、改善して下さい</li> <li>・利用者の状態は常に変化するので、緊急連絡カードの内容は定期的に確認し、一目でわかる活用方法を検討して下さい</li> <li>・地域の協力が素晴らしく、事業所の地域貢献に期待します</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・多職種間の情報共有、連絡報告相談の徹底</li> <li>・看取りケアの充実、ACPに関する勉強</li> <li>・緊急連絡カードの定期的な見直し(年2回)</li> <li>・災害時の協力体制を地域と共に構築する</li> </ul>
III. 結果評価 (評価項目 42～44)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・できていることは継続して下さい</li> <li>・利用者や家族の思いを受け止めたケアの提供と、話し合いの過程をしっかりと行うこと</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・委員会を中心とした生産性向上の取り組みによる、ケアの質の向上</li> <li>・利用者、家族の意向を汲んだ看取りケア、ACPの実施</li> </ul>	

※自己評価・運営推進会議における評価の総括を記載します

■ 評価表 [事業所自己評価・運営推進会議における評価]

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できている	あまりで きていな い	全く できていな い		
<b>I 事業運営の評価 [適切な事業運営]</b>							
<b>(1) 理念等の明確化</b>							
① 看護小規模多機能型居宅介護の特徴を踏まえた理念等の明確化とその実践							
1	○ サービスに求められる「①医療ニーズの高い利用者の在宅生活の継続支援」、「②在宅での看取りの支援」、「③生活機能の維持回復」、「④家族の負担軽減」、「⑤地域包括ケアへの貢献」を含む、独自の理念等を掲げている	2	12		無回答 1	・進捗評価、評価結果参照	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ ①～⑤の全てを含む理念等がある場合は「よくできている」</li> <li>✓ ①～⑤の一部を含む理念等が掲げられている場合は、「おおよそできている」もしくは「あまりできていない」</li> <li>✓ 独自の理念等が明確化されていない場合は「全くできていない」</li> </ul>
2	○ サービスの特徴および事業所の理念等について、職員がその内容を理解し、実践している	1	13	1		・進捗評価、評価結果参照	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 「サービスの特徴および理念等を踏まえた実践」の充足度を評価します</li> <li>✓ 独自の理念等が明確化されていない場合は「全くできていない」</li> </ul>
<b>(2) 人材の育成</b>							
① 専門技術の向上のための取組							
3	○ 職員との話し合いなどを通じて、各職員の中長期的な育成計画などを作成している	2	2	10	1	・進捗評価、評価結果参照	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 「育成計画の作成」の状況について、充足度を評価します</li> <li>✓ すべての職員について育成計画などを作成している場合は「よくできている」</li> </ul>

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できている	あまりで きていな い	全く できていな い		
		が、中堅以上の職員に対しては出来ない 個人的な話し合いにとどまっている					✓ 育成計画などを作成していない場合は「全くできていない」
4	○ 法人内外の研修を受ける機会を育成計画等に基づいて確保するなど、職員の専門技術の向上のための日常業務以外での機会を確保している	2	9	4		・進捗評価、評価結果参照	✓ 「専門技術の向上のための日常業務以外での機会の確保」について、充足度を評価します
		<u>[具体的な状況・取組内容]</u> 動画研修が行える環境 Off JT でカバーできている					
② 介護職・看護職間の相互理解を深めるための機会の確保							
5	○ 介護職・看護職・介護支援専門員の間で、職員が相互に情報を共有する機会が、確保されている	4	11			・進捗評価、評価結果参照	✓ 「情報を共有する機会」の充足度を評価します ✓ 例えば「利用者等の具体的なケースについて話し合うための、定期的なカンファレンスの開催」などが考えられます
		<u>[具体的な状況・取組内容]</u> リーダー会議で情報共有ができています 月1回の会議の他、ミニカンファレンスを適宜行っている					
<b>(3) 組織体制の構築</b>							
① 運営推進会議で得られた意見等の反映							
6	○ 運営推進会議で得られた要望、助言等を、サービスの提供等に反映させている	2	12		無回答 1	・進捗評価、評価結果参照	✓ 「得られた要望・助言等のサービスへの反映」の視点から、充足度を評価します
		<u>[具体的な状況・取組内容]</u> 会議内容を確認してサービスに反映できている					

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく でき ている	およそ でき ている	あまり でき てい ない	全く でき てい ない		
<b>② 職員が安心して働くことができる就業環境の整備</b>							
7	○ 職員が、安心して働くことができる就業環境の整備に努めている	5	7	3		・進捗評価、評価結果参照	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 「職員が、安心して働くことのできる就業環境」の充足度を評価します</li> <li>✓ 例えば、「職員の能力向上の支援」、「精神的な負担の軽減のための支援」、「労働時間への配慮」などが考えられます</li> </ul>
		<u>[具体的な状況・取組内容]</u> 短時間勤務でも周囲のフォローを受けながら安心して働いている 急な勤務変更や休みにも協力し合って対応できている 人員不足だが、勤務調整等互いに協力している 人員不足への環境整備が足りない					
<b>(4) 情報提供・共有のための基盤整備</b>							
<b>① 利用者等の状況に係る情報の随時更新・共有のための環境整備</b>							
8	○ 利用者等の情報について、随時更新を行うとともに、必要に応じて職員間で迅速に共有できるよう工夫されている	4	10	1		・進捗評価、評価結果参照	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 「情報の随時の更新」と「職員間で迅速に共有するための工夫」の2つの視点から、充足度を評価します</li> </ul>
		<u>[具体的な状況・取組内容]</u> 勤務帯毎の申し送りや口頭連絡で重要事項伝達の工夫がされている 業務日誌が分かりやすくなった 日誌、口頭伝達の他、Zai-on活用による周知					
<b>(5) 安全管理の徹底</b>							
<b>① 各種の事故に対する安全管理</b>							
9	○ サービス提供に係る利用者等および職員の安全確保の	1				・進捗評価、評価結果参照	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 「各種の事故に対する予防・対策」の充足度を評価します</li> </ul>

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できてい る	あまりで きていな い	全く できていな い		
	ため、事業所においてその具 体的な対策が講じられてい る	[具体的な状況・取組内容] 月1回の車両点検と年2回の避難訓練が 行われている 事故の検証が適宜行われている					対策が求められる事項としては、 例えば「医療・ケア事故の予防・ 対策」、「交通安全」、「夜間訪問時 の防犯対策」、「個人情報保護」な どが考えられます
② 災害等の緊急時の体制の構築							
10	○ 災害などの緊急時において も、サービス提供が継続でき るよう、職員、利用者、関係 機関の間で、具体的な対応方 針が共有されている	3	12			<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域でも施設と一緒に何か したいという声が出ている。 コロナも落ち着いてきた ので、地域との繋がりを高め て欲しい。</li> <li>・チームわんついで災害時の 情報共有等、BCPにも関連す ることを包括としても検討し たい</li> <li>・ガスバルク設置により、非 常用電源と飲料水の確保がで きるようになった。福祉避難 所の機能が果たせるよう、地 域連携を図る必要がある</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 「緊急時におけるサービス提供の ための備え」について、充足度を 評価します</li> <li>✓ 例えば、「安否確認方法の明確化」、 「連絡先リストの作成」、「医療材 料などの確保」、「災害時ケアのマ ニュアル化」などが考えられます</li> </ul>
<b>II サービス提供等の評価</b>							
<b>1. 利用者等の特性・変化に応じた専門的なサービス提供</b>							
<b>(1) 利用者等の状況把握及びアセスメントに基づく計画の作成</b>							
① 利用者等の24時間の暮らし全体に着目した、介護・看護両面からの一体的なアセスメントの実施							
11	○ 在宅時の利用者の生活状況	3	12			<ul style="list-style-type: none"> <li>・進捗評価、評価結果参照</li> </ul>	✓ 「家族等も含めた24時間の暮ら



番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できている	あまりで きていな い	全く できていな い		
	や家族等介護者の状況等を含む、利用者等の24時間の暮らし全体に着目したアセスメントが行われている	<u>【具体的な状況・取組内容】</u> 家族の都合に合わせて対応できている 急な宿泊や通い延長等、柔軟に対応している					し全体に着目したアセスメント」の充足度を評価します ✓ ケアが包括的に提供される看護小規模多機能型居宅介護においては、家族等を含めた24時間の暮らし全体に着目したアセスメントが必要となります
12	○ 介護職と看護職がそれぞれの視点から実施したアセスメントの結果が、両職種の間で共有されている	2	13			・進捗評価、評価結果参照	✓ 「介護職と看護職間でのアセスメント結果の共有」について、充足度を評価します ✓ 介護・看護の両面から行われたアセスメントの結果は、その後のつき合わせなどを通じて、両職種で共有されることが望ましいといえます
② 利用者等の「尊厳の保持と自己実現の達成」を重視した計画の作成							
13	○ 家族を含む利用者等の考えを把握するとともに、その目標の達成に向けた計画が作成されている	3	11	1		・進捗評価、評価結果参照	✓ 「家族等の考えを含めた計画の作成」について、充足度を評価し利用者のみでなく、家族等の考えを適切に把握するとともに、その考えを含めた計画を作成することは重要であるといえます
14	○ 利用者の有する能力を最大	2	12	1		・進捗評価、評価結果参照	✓ 「利用者の有する能力を活かし

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できている	あまりで きていな い	全く できていな い		
	限に活かした、「心身の機能の維持回復」「生活機能の維持又は向上」を目指すことを重視した計画が作成されている	<u>[具体的な状況・取組内容]</u> 日常の中で利用者ができることは見守りするようにしている 機能維持や向上を目指した計画である 職員都合ではなく、利用者側に立った支援ができています					た、心身機能の維持回復を重視した計画の作成」について、充足度を評価します ✓ 「利用者が尊厳を持って、その有する能力に応じ地域において自立した日常生活を営む」ために、必要な視点であるといえます
③ 利用者の今後の状況変化の予測と、リスク管理を踏まえた計画の作成							
15	○ 利用者の今後の状況変化の予測と、リスク管理を踏まえた計画が作成されている	3	10	2		・進捗評価、評価結果参照	✓ 「状況変化の予測」と「リスク管理」の2つの視点から、充足度を評価します ✓ 介護・看護が一体的に提供される看護小規模多機能型居宅介護においては、特に看護職による予後予測などを踏まえて計画を作成することが重要です
<b>(2) 利用者等の状況変化への迅速な対応とケアマネジメントの実践</b>							
① 継続したアセスメントを通じた、利用者等の状況変化の早期把握と計画への反映							
16	○ サービス提供を通じた継続的なアセスメントにより、利用者等の状況変化を早期に把握し、計画への適宜反映が行われている	2	12	1		・進捗評価、評価結果参照	✓ 「早期の把握」と「計画への適宜反映」の2つの視点から、充足度を評価します

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できている	あまりで きていな い	全く できていな い		
		都度対応している ある程度できている					
② 居宅への訪問を含む、利用者等の暮らし全体に着目したアセスメントの実施と計画への反映							
17	○ 通い・泊まりの利用に過度に偏らないよう、適時適切に利用者宅を訪問することで、家族等を含めた居宅での生活状況の変化を継続的に把握している	5	9		無回答 1	・進捗評価、評価結果参照	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 「訪問による、家族等を含めた居宅での生活状況の変化の継続的な把握」という視点から、充足度を評価します</li> <li>✓ 訪問によるケアの提供は、家族等を含めた居宅での生活状況を把握するためにも重要です</li> </ul>
③ 利用者等の状況変化や目標の達成状況等に関する関係多職種との情報共有							
18	○ 利用者等の状況変化や目標の達成状況等について、主治医など、事業所内外を含む関係多職種と情報が共有されている	3	10	2		・進捗評価、評価結果参照	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 「利用者等の状況変化や目標の達成状況等の事業所内外を含む関係多職種との情報共有」について、充足度を評価します</li> </ul>
<b>(3)介護職・看護職の協働による一体的なサービスの提供</b>							
① 介護職と看護職の相互の専門性を生かした柔軟なサービスの提供							
19	○ 介護職と看護職のそれぞれ	3	12			・進捗評価、評価結果参照	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 「介護職と看護職の専門性を活か</li> </ul>

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できている	あまりで きていな い	全く できていな い		
	の専門性を最大限に活かし ながら、柔軟な役割分担が行 われている	<u>[具体的な状況・取組内容]</u> 看護師と相談しながら行えている 創の処置等、なぜか介護員が中心になっ ていることがある					した役割分担」について、充足度 を評価します ✓ 介護・看護が一体的に提供される 看護小規模多機能型居宅介護で は、効果的・効率的なサービス提 供のために、各々の専門性を活か した役割分担や、業務の状況等に 応じた柔軟な役割分担を行うこと が重要です
20	○ 利用者等の状況について、介 護職と看護職が互いに情報 を共有し対応策を検討する など、両職種間の連携が行わ れている	5	10			・進捗評価、評価結果参照	✓ 「介護職と看護職の情報共有およ び対応策の検討」について、充足 度を評価します
② 看護職から介護職への情報提供および提案							
21	○ 看護職から介護職に対して、 疾病予防・病状の予後予測・ 心身の機能の維持回復など の観点から、情報提供や提案 等を行っている	2	12	1		・個人の意見や考えを指示せ ず、持ち帰って看護師内で意 見統一するようにしたい。 ・相談先を統一する等の対応 を。 ・対応が早く、よく観察して もらっている。 ・オンコール体制は、利用者 や家族はもちろんのこと、職 員の安心にもなっているの では。	✓ 「看護職の専門性を活かした、介 護職への情報提供や提案等」につ いて、充足度を評価します ✓ このような情報提供や提案等は、 看護職の専門性を活かした役割の 1つとして期待されます

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できている	あまりで きていな い	全く できていな い		
		覆されるので、混乱が生じる					
<b>(4)利用者等との情報及び意識の共有</b>							
① 利用者等に対するサービスの趣旨及び特徴等についての情報提供							
22	○ サービスの趣旨および特徴等について、分かりやすく説明し、利用者等の理解を得ている	1	13	1		・進捗評価、評価結果参照	✓ 「利用者等の理解」について、充足度を評価します
		[具体的な状況・取組内容] 分かりやすいように説明している					
② 利用者等への「在宅での療養生活」に係る指導・説明							
23	○ 作成した計画の内容や在宅での療養生活の継続に向けて留意すべき点等について、分かりやすく説明し、利用者等の理解を得ている	1	12	2		・進捗評価、評価結果参照	✓ 「利用者等の理解」について、充足度を評価します
		[具体的な状況・取組内容] 分かりやすい説明に努めている					
24	○ 利用者等が行う医療処置や医療機器の取り扱い方法、家族等が行うケアの提供方法等について、分かりやすく説明し、利用者等の理解を得ている	2	12	1		・進捗評価、評価結果参照	✓ 「利用者等の理解」について、充足度を評価します
		[具体的な状況・取組内容] 分かりやすく説明できている 不明な点は看護師に確認し、説明している					
③ 重度化した場合や終末期における対応方針の、利用者等との相談と共有							
25	○ 利用者本人（意思の決定・表	4	10	1		・初回利用の段階で、最後を	✓ 「サービス提供への適切な反映」

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できている	あまりで きていな い	全く できていな い		
	示ができない場合は家族等)の希望や意向を把握し、サービスの提供に反映している	[具体的な状況・取組内容] 本人や家族の希望に添えるように対応している				どこで過ごしたいか聞き取りし、状態変化のタイミングでも随時確認しているが、いざとなると搬送を希望する方もいる。いかに安心して過ごしてもらえるかが課題。 ・気持ちが変わることは珍しくない。一度の確認だけでなく、話し合いを重ねること、その過程が大切。	について、充足度を評価します
26	○ 在宅生活の継続の可否を検討すべき状況を予め想定し、その際の対応方針等について、利用者等と相談・共有することができている	1	12	2		・進捗評価、評価結果参照	✓ 「将来に発生し得る様々なリスクを想定した上での、対応策の検討と共有」について、充足度を評価します
27	○ 終末期ケアにおいて、利用者等に適切な時期を見計らって、予後および死までの経過を丁寧に説明し、説明した内容や利用者等の意向等を記録として残している	6	8	1		・進捗評価、評価結果参照 ・項目25と同意見	✓ 「予後および死までの経過の説明」と「記録の有無」の2つの視点から、充足度を評価します ✓ 「丁寧に説明し」且つ「記録として残している」場合は「よくできている」
<b>2. 多機関・多職種との連携</b>							
<b>(1) 病院・施設等との連携による円滑で切れ目のないケアの提供</b>							
① 病院・施設等との連携や情報共有等による、在宅生活への円滑な移行							
28	○ 病院・施設等との連携・情報共有等により、病院・施設等	3	11	1		・進捗評価、評価結果参照	✓ 「利用者の円滑な在宅生活への移行」について、充足度を評価しま

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できている	あまりで きていな い	全く できていな い		
	からの、利用者の円滑な在宅生活への移行を支援している	<b>[具体的な状況・取組内容]</b> 退院前カンファレンスで情報共有している 実調等で事前に情報提供がされている					す ✓ 例えば、「退院・退所前のカンファレンスへの参加」、「利用者等に係る病院・施設等との継続した情報共有」などの取組が考えられます
② 入院・入所の可能性がある利用者についての、主治医等との対応方針の共有							
29	○ すべての利用者について、緊急時の対応方針等を、主治医等と相談・共有することができる	5	10			・利用者毎の緊急連絡カードは、例えば、災害時は首から下げられるようにして、誰が見ても分かるような活用方法があるといい ・緊急時は既往歴や薬の情報、通院歴の情報があると協力しやすいということを地域の方に知って欲しい	✓ 「緊急時の対応方針等の主治医等との相談・共有」を評価します ✓ 利用者の状態変化・家族等介護者の状況の変化など、実際に発生する前の段階から予め対応方針等を主治医等と相談・共有しておくことが重要です
③ 地域の医療機関等との連携による、急変時・休日夜間等に対応可能な体制の構築							
30	○ 地域の医療機関等との連携により、休日夜間等を含めて、すべての利用者について、急変時に即座に対応が可能な体制が構築されている	5	10			・進捗評価、評価結果参照	✓ 「即座な対応が可能な体制の構築」について、充足度を評価します
<b>(2) 多職種との連携体制の構築</b>							
① 運営推進会議等における、利用者のために必要となる包括的なサポートについての、多職種による検討							

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく でき ている	およそ でき ている	あまり でき てい ない	全く でき てい ない		
31	○ 運営推進会議等において、利用者のために必要と考えられる包括的なサポートについて、民生委員・地域包括支援センター・市区町村職員等への情報提供や提案が行われている	1	8	3	無回答 3	・進捗評価、評価結果参照	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 「利用者のために必要となる、介護保険外のサービスやインフォーマルサポート等を含めたケアの提供について、多職種とともに検討・支援を行っていくなどの取組」の充足度を評価します</li> <li>✓ そのような取組をしたいことがない場合は「全くできていない」</li> <li>✓ 民生委員のみでなく、自治会長や町会長などの住民代表も対象です</li> </ul>
		<u>[具体的な状況・取組内容]</u> 会議内で災害時の相互支援、情報共有が話し合われている コロナ5類に移行し、対面での会議を再開したことで、意見交換がスムーズに行えるようになった。					
<b>3. 誰でも安心して暮らせるまちづくりへの参画</b>							
<b>(1) 地域への積極的な情報発信及び提案</b>							
① サービスの概要及び効果等の、地域に向けた積極的な情報の発信							
32	○ 運営推進会議の記録について、誰でも見ることができるような方法での情報発信が、迅速に行われている	4	11			・進捗評価、評価結果参照	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 「誰でも見ることができる方法での情報発信」と「迅速な情報発信」の2つの視点から、充足度を評価します</li> </ul>
		<u>[具体的な状況・取組内容]</u> ホームページで閲覧可能					
33	○ サービスの概要や地域において果たす役割等について、正しい理解を広めるため、地域住民向けの積極的な啓発活動が行われている	無回答 1	8	5	1	・進捗評価、評価結果参照	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 「積極的な啓発活動」について、評価する項目です</li> <li>✓ 例として、「チラシ等の配布」や「地域説明会の実施」などの取組が考えられます。</li> <li>✓ 利用者や職員の確保のみを目的と</li> </ul>
		<u>[具体的な状況・取組内容]</u> コロナ禍で3~4年程できていない 地域との関りは活発ではない コロナが落ち着きつつあり、地域活動の					



番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できている	あまりで きていな い	全く できていな い		
		再開を検討する必要がある 福祉避難所登録になり、地域貢献の度合 いは高まったと思う					した活動等は除きます
<b>(2) 医療ニーズの高い利用者の在宅での療養生活を支える、地域拠点としての機能の発揮</b>							
① 看護小規模多機能型居宅介護事業所の登録者以外を含む、地域への訪問看護の積極的な提供							
34	○ 看護小規模多機能型居宅介護事業所の登録者以外を対象とした訪問看護を積極的に実施している	無回答 1	6	7	1	・進捗評価、評価結果参照	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 「指定訪問看護事業所の指定を併せて受けている事業所」のみが対象です。該当しない場合は、実施状況欄は無記入で、[具体的な状況・取組内容]欄に「指定なし」と記入してください</li> <li>✓ 「登録者以外を対象とした訪問看護」を実施していない場合は、「全くできていない」</li> <li>✓ 「あまりできていない」～「よくできている」は、その「積極性」の視点から、充足度を評価します</li> </ul>
② 医療ニーズの高い要介護者の積極的な受け入れ							
35	○ 「たん吸引」を必要とする要介護者を受け入れることができる体制が整っており、積極的に受け入れている	9	6			・進捗評価、評価結果参照	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 「積極的な受け入れ」について、充足度を評価してください</li> <li>✓ 「受け入れることができる体制」が整っていない場合は、「全くできていない」</li> <li>✓ 「あまりできていない」～「よく</li> </ul>

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく でき てい る	およそ でき てい る	あまり でき てい ない	全く でき てい ない		
							「できている」は、その「積極性」の視点から、充足度を評価します
36	○ 「人工呼吸器」を必要とする要介護者を受け入れることができる体制が整っており、積極的に受け入れている	無回答 2		3	10	・進捗評価、評価結果参照	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 「積極的な受け入れ」について、充足度を評価してください</li> <li>✓ 「受け入れることができる体制」が整っていない場合は、「全くできていない」</li> <li>✓ 「あまりできていない」～「よくできている」は、その「積極性」の視点から、充足度を評価します</li> </ul>
		[具体的な状況・取組内容] 受け入れの判断が分からない ハード面で受け入れられない					
37	○ 「看取り支援」を必要とする要介護者を受け入れることができる体制が整っており、積極的に受け入れている	8	6	1		・進捗評価、評価結果参照	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 「積極的な受け入れ」について、充足度を評価してください</li> <li>✓ 「受け入れることができる体制」が整っていない場合は、「全くできていない」</li> <li>✓ 「あまりできていない」～「よくできている」は、その「積極性」の視点から、充足度を評価します</li> </ul>
		[具体的な状況・取組内容] 受け入れ態勢は整っていると思う 受け入れ態勢があり、看取り支援の研修も行われている					
<b>(3) 地域包括ケアシステムの構築に向けての、まちづくりへの参画</b>							
① 行政の地域包括ケアシステム構築に係る方針や計画の理解							
38	○ 管理者および職員が、行政が介護保険事業計画等で掲げ	1	3	9	無回答 2	・進捗評価、評価結果参照	✓ 「内容等の理解」について、その充足度を評価します

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できている	あまりで きていな い	全く できていな い		
	ている、地域包括ケアシステムの構築方針や計画の内容等について理解している	<u>[具体的な状況・取組内容]</u> 理解についてはまだまだだと思う 内容が難しく、理解に至らない					<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 地域包括ケアシステムの構築にあたっては、その中で各々が果たすべき役割を、明確に理解することが必要であるといえます</li> <li>✓ 地域包括ケアシステムの構築方針や計画などが無い場合は、「全くできていない」</li> </ul>
② サービス提供における、(特定の建物等に限定しない) 地域への展開							
39	○ サービスの提供エリアについて、特定の集合住宅等に限定せず、地域に対して積極的にサービスを提供している	2	9	4		・進捗評価、評価結果参照	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 「特定の集合住宅等に限定しない、地域への積極的な展開」について、充足度を評価します</li> <li>✓ 看護小規模多機能型居宅介護は、特定の集合住宅等に限定することなく、地域全体の在宅療養を支える核として機能していくことが期待されます</li> <li>✓ 特定の集合住宅等のみを対象としている場合は「全くできていない」</li> </ul>
③ 安心して暮らせるまちづくりに向けた、関係者等への積極的な課題提起、改善策の検討等							
40	○ 介護・看護の観点から、地域関係者に対し、必要に応じて課題提起や改善策の提案等が行われている	無回答 2	1	10	2	・進捗評価、評価結果参照	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 「課題提起や改善策の提案等の取組」について、その充足度を評価します</li> <li>✓ 今後は、サービスの提供等を通じて得た情報や知見、多様な関係者とのネットワーク等を活用し、必要となる保険外サービスやインフ</li> </ul>

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく でき て い る	おおよそ でき て い る	あまり で き て い な い	全く で き て い な い		
							<p>オーマルサービスの開発・活用等、利用者等のみでなく地域における課題や改善策を関係者に対して提案していくなどの役割も期待されます</p> <p>✓ そのような取組をしたことがない場合は、「全くできていない」</p>
41	○ 家族等や近隣住民などに対し、その介護力の引き出しや向上のための具体的な取組等が行われている	1	3	8	2	・進捗評価、評価結果参照	<p>✓ 「家族等や近隣住民に対する、介護力の引き出しや向上のための取組」について、その充足度を評価します</p> <p>✓ 今後は、利用者への家族等や近隣住民の関わりを促しながら、関係者全員の介護力を最大限に高めることにより、在宅での療養生活を支えていくための環境を整えていくなどの役割も期待されます</p> <p>✓ そのような取組をしたことがない場合は、「全くできていない」</p>

番号	評価項目	事業所自己評価	運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
<b>Ⅲ 結果評価</b>				
① 計画目標の達成				
42	○ サービスの導入により、利用者ごとの計画目標が達成されている	1. ほぼ全ての利用者について、達成されている・・・6 2. 利用者の2/3くらいについて、達成されている・・・7 3. 利用者の1/3くらいについて、達成されている 4. 利用者の1/3には満たない [具体的な状況・取組内容] 無回答 2 利用者の状態に応じて計画が作られている	・進捗評価、評価結果参照	✓ 「計画目標の達成」について、評価します
② 在宅での療養生活の継続に対する安心感				
43	○ サービスの導入により、利用者およびその家族等において、医療が必要な状況下においての在宅での療養生活の継続に対し、安心感が得られている	1. ほぼ全ての利用者について、達成されている・・・6 2. 利用者の2/3くらいについて、達成されている・・・8 3. 利用者の1/3くらいについて、達成されている 4. 利用者の1/3には満たない [具体的な状況・取組内容] 無回答 1 看護師がいることの安心感は職員、家族共にあると思う 看護師と情報共有し適切なアドバイスをもらうことで安心できるサービス提供が可能	・進捗評価、評価結果参照	✓ 在宅での看取りを除く、全ての利用者およびその家族等に対し、サービスの提供により実現された「医療が必要な状況下においての、在宅での療養生活の継続に対する安心感」について、評価します
44	○ サービスの導入により、在宅	1. ほぼ全ての利用者について、達成され	・進捗評価、評価結果参照	✓ 在宅での看取りを希望する利用者お

番号	評価項目	事業所自己評価	運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
	での看取りを希望する利用者およびその家族等において、在宅での看取りに対する安心感が得られている	<p>ている・・・7</p> <p>2. 利用者の2/3くらいについて、達成されている・・・5</p> <p>3. 利用者の1/3くらいについて、達成されている・・・1</p> <p>4. 利用者の1/3には満たない</p> <p>5. 看取りの希望者はいない・・・1</p> <p><b>[具体的な状況・取組内容] 無回答 1</b> 家族へ意向確認し、支援の合意形成がされている</p>		<p>よびその家族等に対し、サービスの提供により実現された「在宅での看取りに対する安心感」について、評価します</p> <p>✓ 在宅での看取りは、事業所内（通い・泊まり）での看取りを含みます</p> <p>✓ 在宅での看取りの希望者がいない場合は、「5. 看取りの希望者はいない」</p>